

# 憲法違反の「駆け付け警護」 自衛隊は南スーダンから撤退を

## P K O参加5原則守らぬ政府

### 南スーダンで 殺し殺される新任務

安倍内閣は内乱状態に陥っている南スーダンの国連平和維持活動（P K O）に11月から派兵予定の部隊に新任務を命じるために至近距離での戦闘訓練などを開始しています。

70年間守ってきた平和主義を捨て去ることになります。

「戦争法」が施行され、P K Oに参加する自衛隊部隊は

○他国部隊やN G O職員が攻撃されたときに応戦する「駆け付け警護」

○宿営地への攻撃に外国軍と共同して応戦する活動等、が出来るようになりますが基本的に憲法9条違反です。

### P K O参加5原則とは

自衛隊がP K O（国連平和維持活動）に参加する際の条件はP K O協力法に次のことが決められています。

- ① 紛争当事者間で停戦合意が成立。
- ② 当該地域の属する国を含む紛争当事者がP K O及び日本の参加に合意していること。
- ③ 中立的立場を厳守する事。
- ④ 右の基本方針のいずれかが満たされないときは部隊を撤収できること。
- ⑤ 武器の使用は要員の生命等の防護のために必要な最小限の物に限られること。

現在、南スーダンでは日常的に戦車や軍用ヘリが戦闘行為を行っています。混乱した場所で「駆け付け警護」等を行えば「殺し・殺されることになる」のは明らかです。戦争する国づくりはお断り。

### 衆議院選挙で野党協力強め 改憲勢力を少数に

安倍内閣で良くなったことが有るでしょうか。消費税が8%に上げられ国民生活は大変です。国民が買いたい物を減らしたため不景気に。

アベノミクス円安で儲けたのは一部の大富豪と大企業、働く人の賃上げは増税にも追いつかず、大企業の儲けは株主と経営者に。

国民の年金掛金を株につぎ込み10兆円を超える赤字、しかしG P I Fの理事長報酬、独立行政法人トップの3130万円、証券会社手数料383億円、どこまで食い物に。

憲法9条を変えて「戦争する国へ」軍事費拡大・社会保障削減、さらに介護保険の大改悪。今こそ野党は共同して参議院選挙のように衆議院選挙を取り組みましょう。

戦争法無くそう・憲法9条守れ・平和が一番。

### 洛西平和ネット「憲法カフェ」のお知らせ

9月から始めています。

10月22日(土)午後1時45分受付 2時から3時30分まで

テーマ 日本国憲法と私たちのいのち・暮らし・平和

講師 高木野衣 京都第一法律事務所弁護士

11月26日(土)午後1時45分受付 2時から3時30分まで

テーマ 自民党改憲案でいのち・くらし・平和はどうなる

講師 諸富 健 市民共同法律事務所弁護士

会場 カフェ樺（けやき）境谷会館内

桂西口から西2番乗車 境谷センター前下車

会費 各回500円(コーヒ一代+資料代)

申し込み 洛西平和ネット事務局 tel/fax 075-874-4876



### 自民党改憲草案の 緊急事態条項とは

（緊急事態の宣言）

自民党改憲案第九十八条

内閣総理大臣は、我が国に対する外部からの武力攻撃、内乱等による社会秩序の混乱、地震等による大規模な自然災害その他の法律で定める緊急事態において、特に必要があると認めるときは、法律の定めるところにより、閣議にかけて、緊急事態の宣言を発することができる。

自民党改憲案第九十九条

緊急事態の宣言が発せられたときは、法律の定めるところにより、内閣は法律と同一の効力を有する政令を制定することができ、内閣総理大臣は財政上必要な支出その他の処分を行い、地方自治体の長に対して必要な指示をすることができる。

### 独裁政治狙う安倍内閣

自民党改憲草案は基本的には明治憲法に戻ることを目指しています。

改憲草案の「緊急事態宣言」を安倍内閣が「閣議決定」すれば、後は憲法や様々な法律を無視して法律と同等の効力を持つ「政令」を自由に公布して財政も地方自治体も言いなり、国民の自由も厳しく制限、事実上の「戒厳令」となってしまう事になります。

東日本大震災や熊本地震などの大災害では地方自治体が国の支援を受けて救助や復興にあたっていますので国が勝手にやることにしているのは多くの自治体が必要ないと話しています。安倍内閣は理由を付けて「独裁」を狙っていることは明らかではないでしょうか。

戦争法強行から1年1ヶ月  
午後6:30より市役所前で  
集会とパレードが行われます。  
ご一緒に参加しましょう。

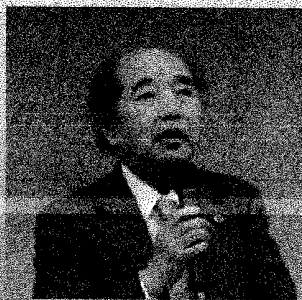
# 洛西平和ネット

発行 2016年10月19日  
事務局 tel・fax075-874-4876

戦争法廃止！安倍改憲NO！さらなる共同の発展を

生かそう憲法 守ろう9条

# 11・3憲法集会 in 京都



講演 「新しい憲法情勢のもとで、  
さらなる共同の発展をめざして」

出口治男さん

(元京都弁護士会会長・憲法9条京都の会世話人)

プロフィール：1945年石川県で生まれる。1970年4月裁判官。1981年4月退官、弁護士登録。この間1993年から2年間日弁連子どもの権利委員会委員長。1997年から1年間京都弁護士会会長。1998年から約半年間法制審議会少年法部会委員。2005年日弁連副会長

参議院選挙は、市民に後押しされた野党共闘が大きな成果を上げる一方、安倍政権与党と改憲派勢力が3分の2を超え、日本の進路と憲法は重大な局面に。

新たな憲法情勢を切り開くカギは、市民と野党の共同のさらなる広がりとし強さにかかっています。

府民の安倍改憲許すな！の思いと決意を改めてつなぎ合わせ、市民と野党の共同をさらに広げ、発展させましょう。

ぜひ、ご参加下さい。



落語

古今亭菊千代さん

(落語家・芸人9条の会呼びかけ人)

プロフィール：1984年、古今亭門下に入門。1993年に先輩の三遊亭歌る多師と共に江戸で初の女性真打に昇進。以降、本来の寄席やホール、各落語会の出演のほか、手話と一緒に楽しむ落語、朝鮮・韓国語での落語を口演。平和憲法9条をこよなく愛し、9の紋の羽織、着物を着てメッセージを発信。

- ◇オープニング 京都うたごえ協議会／おもちゃ楽団／平和おどり
- ◇スピーチ 東アジア青少年歴史体験キャンプ(高校生)より  
京都から沖縄連帯のアピール
- ◇子どもたちへ 参加した小中学生全員に本のプレゼント
- ◇憲法ウォーク 15:45出発(祇園石段下→四条河原町→市役所前) 戦争法廃止の願いを道行く人に工夫してアピールしましょう。

開催日  
会場  
参加費

2016年11月3日(木・祝) 開場:午後1時 開会:午後2時

円山野外音楽堂(祇園・円山公園内) 雨天決行

参加費無料 (会場カンパをお願いしています)

主催 憲法9条京都の会 (<http://9-kyoto.net>) / 京都96条の会 (<http://kyoto.96jo.net>)

企画運営 11・3憲法集会実行委員会

連絡先 憲法9条京都の会 京都市伏見区新町11丁目365

電話: 050-7500-8550 ファックス: 075-603-8135

メールアドレス: [kenpo@9-kyoto.net](mailto:kenpo@9-kyoto.net)

賛同の募金をお願いしています。郵便振込口座番号: 00970-4-225702 加入者名: 憲法9条京都の会



京都憲法9条の会  
QRコード